

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

平成 年 月 日

協議会名: 武豊町地域公共交通会議

資料5-1

評価対象事業名: 地域内フィーダー系統

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
【補助対象となる事業者名等の名称を記載】	【系統名・航路名・設備名、運行(航)区間、整備内容等を記載(陸上交通に係る確保維持事業において、車両減価償却費等及び公有民営方式車両購入費に係る国庫補助金の交付を受けている場合、離島航路に係る確保維持事業において離島航路構造改革補助(調査検討の経費を除く。)を受けている場合は、その旨記載)】	【事業評価の評価対象期間において、前回の事業評価結果をどのように生活交通確保維持改善計画に反映させた上で事業を実施したかを記載】	A・B・C評価 【計画に基づく事業が適切に実施されたかを記載。計画どおり実施されなかった場合には、理由等記載】	A・B・C評価 【計画に位置付けられた定量的な目標・効果が達成されたかを、目標ごとに記載。目標・効果が達成できなかった場合には、理由等分析の上記載】	【事業の今後の改善点及びより適切な目標を記載。改善策は、事業者の取り組みだけでなく、地域の取り組みについて広く記載。特に、評価結果を生活交通確保維持改善計画にどのように反映させるか(方向性又は具体的な内容)を必ず記載すること。】 ※なお、当該年度で事業が完了した場合はその旨記載
知多乗合(株)	コミュニティバス南部線 青ルート	交通網形成計画の策定をふまえ、ネットワークを改変させ、緑ルートを廃止し、青ルートを継続させた。(H27/10改正) ルート・停留所の見直しも随時行う。(H28/4改正)	A 計画通り事業は適切に実施されている。	A ルートの再編の初年度で、年間8,200人の利用を見込む目標値に対して、14,127人と大幅に利用が進む。 ちなみに、バスネットワーク全体を見直し、幹線系統の赤ルートとフィーダー系統の青ルートに再編させている。ネットワーク全体でも利用者数は大幅に増加し、新規利用者の開拓も成功できている。	バスネットワーク全体の見直しの中で、青ルートの運行便数は、1日5便から11便に倍増させた。利便性が高くなり、利用者数は大幅に増加したものの、1便当たりの利用者数は4.5人から3.6人に低下している。ルート・停留所の見直しとさらなる利用促進活動を行い、便当たりの利用者数の増加、ネットワーク全体での利用者数の増加を目指す。